

クイズとビジネスの経済学

120万人が新たな消費行動を起こした「クイズキャッチャー®」を経済学者が分析
クイズとビジネスの幸せな関係をご紹介します。

「このビジネスモデルは、マスメディアとリテールショップの両方の特質を融合することに成功した希有のインターネットビジネスと評価できる。クイズを利用したマスメディア的なエンターテインメント性を提供することと、バラエティに富んだ、しかも小売り販売では難しい商品まで販売するという、現実の販売/マーケティングの要素も兼ね備えている。」 ※報告書(中泉教授著)より

今から13年前に始められたWEBコンテンツ・クイズキャッチャー®「キャンペーン生活！」(提供ネオプロモーション株式会社)が、多くの利用者を獲得し今では120万人以上のユーザーを有する人気コンテンツとなっている。WEBコンテンツを中心とした新しいビジネスモデルに対する社会倫理観が移り変わる中でも成長し続けている実態に注目した。

この研究発表会では、日本発インターネットビジネスとしての成功例、新商品の市場調査の場としての有効性、新たな販売チャネルとしての利用について、それぞれのポイントをデータを交え解説する。



林 紘一郎

東京大学法学部卒業。旧電電公社 (NTT の前身) に入社。民営化後は、国際部次長、専用サービス推進部長、NTT アメリカ社長などを経て、退社。慶應義塾大学メディアコミュニケーション研究所教授を経て情報セキュリティ大学院大学学長 (12.3 月)。



中泉 拓也

関東学院大学 経済学部 教授

東京大学経済学部卒、東京大学大学院、経済学研究科終了、博士(経済学)。関東学院大学、専任講師、准教授をへて、2012年4月より現職。現在、総務省政策評価・独立行政法人評価委員会、政策評価分科会委員など。専門は、インセンティブと情報の経済学、政策評価。



田中 辰雄

慶應義塾大学 経済学部 准教授

東京大学大学院経済学研究科修了。国際大学 GLOCOM 主幹研究員。専門は計量経済学、情報通信産業およびコンテンツ産業の経済分析。



石原 昌和

ニューヨーク大学スターン経営大学院助教授

トロント大学ロットマン経営大学院で Ph.D. を取得。専門は計量マーケティング・実証産業組織論。現在の研究テーマはテレビゲーム産業分析、構造推定におけるベイズ推定の応用など。

実施概要

日時 **6/29** 2012 (金) 16:30-18:30

入場料無料 [受付 16:00~]

※事前にメールか FAX でご予約をお願いいたします

場所 **如水会館**

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

- 地下鉄東西線竹橋駅下車 1b 出口 徒歩4分
- 地下鉄半蔵門線神保町下車 A8・A9 出口 徒歩3分
- 都営地下鉄三田線神保町下車 A8・A9 出口 徒歩3分
- 都営地下鉄新宿線神保町下車 A8・A9 出口 徒歩3分

研究発表会

「なぜ今、経済学なのか」 林紘一郎

「実証分析-(♪) ルンからみるクイズキャッチャーの特徴」 田中辰雄

「理論分析-クイズキャッチャーのセオリー」 中泉拓也

「コメント」 石原昌和

意見交換会

※発表会終了後、名刺交換などもしていただける

意見交換会を用意しております。

参加希望の方はメールか以下にご記入の上 FAX にてご連絡ください

ネオプロモーション株式会社 mail: kanri@neopro.net FAX:03-5213-4748 担当 坂本(管理部)

参加希望人数	御社名	お申込み代表者氏名	ご連絡先住所
名			電話番号 []